

交流人口の拡大について

木下 敬夫 議員(礎)



木下議員 青柏祭の期間中において、七尾市への入り込み客数が昨年比で1万人減の12万5,000人であり、特にのりと里山海道の無料化で奥能登観光に向かったのが原因という新聞報道が七尾市の発表として行われまし

た。短期間だけを取り上げて、1万人減だから、のりと里山海道が無料化になって奥能登へ行ったという発表は非常に他人行儀のような印象が強いです。こういった経緯で発表され、どういう意図があったのか伺います。

光客の誘導、交通対策をしっかりとやろうということとで臨みましたが、入り込み客数は12万5,000人で、前年よりも1万人減でした。私どもとしては、無料化の効果を最大限に享受しようということ、奥能登に出掛けたのではと思っていますし、4月早々から動く人が多かったのではないかと。また、分散化もあつたのではと思っています。また、マスクミへの発表

ですが、例年どおりの照会に例年どおりの対応で答えたというもので、手心を加えることがあつてはならないと思つていますし、この数字は、率直に受けとめていく必要があると思つています。

- その他の質問項目
- インフラ老朽化対策
- 地域農業活性化



青柏祭

子供の育成を目指す「子育て基本条例」について

伊藤 厚子 議員(無会派)



伊藤議員 鹿児島県始良市では、社会全体で協働して子育て人づくりを進め、自立した子どもの育成を目指す子育て基本条例を施行しています。始良市の子育て基本条例について、御所見を伺います。また、仮称ですが七

尾つ子育て審議会を充足していただき、子育てをめぐる現状や課題、解決に向けた協働の取り組みなどを審議していただき、子育て基本条例の施行につなげて欲しいと思つています。見解を伺います。

また、条例の制定等については、保護者や地域の方々に子どもの教育についての関心を高めてもらうために、伸ばせ！七尾つ子プロジェクト会議や赤ちゃんふれあい教室、校区別教育フォーラム、そして各学校では学校行事、その他部活参観、授業参観等を計画的に実施しています。また、平成17年3月に七尾市児童福祉総合計画が策定され、地域ぐるみで子育てを支

援していく仕組みづくりも推進されています。このように、学校、家庭、地域、行政ぐるみでの取り組みが展開されており、条例の制定等は今のところ考えていません。

- その他の質問項目
- 佐賀県武雄市の図書館の指定管理者制度
- あんしん見守りシステム事業



赤ちゃんふれあい教室

原子力防災道路について

山添 和良 議員(市民クラブ)



山添議員 福井県では今年度の当初予算に原発防災道路の整備費に国からの特別交付金30億円、関電や日本原電の負担する17億8,500万円、合計47億8,500万円を計上しました。同じように能登半島は防災道路が必要

な場所です。原子力防災道路を必要とする自治体の長として、七尾市から県や国に対して十分な防災道路整備を要望して欲しいと思つています。考えを伺います。

電施設等の設置、運転が円滑な状況にあると認められた場合に、新たな原発施設等の設置が予定されている都道府県あるいは市町村を対象に交付されるもので、すべての原発立地地域を対象にしているものではないです。したがって、本県は対象外ということになります。市としては、今進めている国道の整備や能越自動車道、のりと里山海道も当然避難道路になるわけで、しっかり

とした整備なり管理をしていただけるよう要望していきたいと思つています。県道、市道の整備もこういった観点で対応していきたいと考えています。

- その他の質問項目
- 安全対策と里山保全
- 学校開放
- 学校図書館司書の正規雇用
- 平和写真パネル展



無料化された能登有料道路

企業誘致について

永崎 陽 議員(清友会)



永崎議員 市の企業誘致活動の実態を問う。産業振興プランを策定し戦略的に企業誘致に取り組むとしているがそのアクションプランを問う。専門の担当職員を養成し、ス

キルアップを図るべきと思つた。その対応を問う。

関と連携しながら企業誘致に取り組んでいます。先般、企業立地助成制度を拡充したところであり、周知を図り企業の立地促進に努めていきます。また、具体的なアクションプランは、現在、検討中です。また、担当職員には企業との信頼関係の構築、誘致活動から創業までワンストップでサポートする体

制や幅広い知識や折衝などの能力が求められています。異動については、人員体制も含め配慮していきます。

- その他の質問項目
- MICE促進や魅力発信
- 史跡の維持管理・活用
- 訪れたくなるまちづくり



七尾港大田工業用地